

第 3 回 いしかわの森づくり検討委員会要旨

1 日 時 平成 16 年 9 月 16 日 (木) 13:30 ~ 15:10

2 場 所 県庁行政庁舎 1109 会議室

3 出席状況 出席委員 11 名 (全委員 13 名)

4 議事概要

(1) 第 2 回検討委員会の要旨について

(2) 現地調査の結果について

(3) 森林の整備に関する制度について

5 主な発言内容

(1) 現地調査について

- ・手入れ林と手入れ不足林を調査して、土壌による保水能力の違いなど大変参考になった。このことを広く県民に知らせて欲しい。

(2) 森林管理について

- ・管理されていない森林を整備するには、森林ボランティアだけではできない。
- ・戦後からスギの植林を進めてきたが、環境林としての視点から、広葉樹の育成も必要ではないのか。
- ・森林所有者は、国策として森林整備にまじめに取り組んできたが、材価の低迷などから、今の人工林の状況はやむを得ないことを理解していただきたい。

(3) 財源について

- ・水源の維持など、公益的な機能がある森林を保全するため、県民の理解を得て負担を求め、森林整備の財源に充てるべき。
- ・森林整備するために、どういうことをやり、そのために費用がどれだけ必要となり、今の財源ではどれだけ足りないのか明確になっていない段階で、税の議論は早すぎる。
- ・間伐などの森林整備にあたり、必要な費用や対象となる面積等の長期的な大枠が示されないと、次の検討に進めない。
- ・他県のように水道料金に上乘せする方法では、県水を利用する人に負担が限られ、不公平感がある。

(4) その他

- ・地産地消が叫ばれる中で、地域の環境にあった県産材を使うことが大事である。
- ・単に森林整備の財源を検討するだけでなく、子供達に対する森林環境教育などのソフト対策も必要である。